

◎基本情報

事務事業名	学校安全施設整備事業		担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系			根拠法令計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項第7号都市公園における遊具の安全確保に関する指針	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 18年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと		終期	未定
(小項目)		教育行政			
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内の幼稚園・小中学校に設置している設備等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	児童生徒たちが安全に、かつ安心して遊び学べる施設環境を整備していくために、老朽化し危険な状態にある遊具の撤去や設置、施設の改修、防犯設備など安心確保のための設備整備を行い、安全な学校施設とする。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	施設の改修など、児童生徒の安全確保のための整備を行う。また、平成26年度からの6カ年の計画で、未整備の学校に対し、「防犯カメラとセンサーライト」の配備を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	126	155	202	222	242	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	現地調査やヒアリング等をもとに、各学校施設で安全上・防犯上設置や改修が必要な施設・設備を集計し、早急に対応すべき事案について、予算内で整備を行った。また、未整備の学校に対し「防犯カメラとセンサーライト」の整備を進めた。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 前年度までに改修や設置を行った件数	106	135	182	202	222	件
	2 年度中に改修や設置を行った件数	29	47	20	20	20	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	135	182	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		117.4	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	10,000	10,000
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	0	0	0	10,000	10,000
		決算額		0	0	0	0	9,964	9,964
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.0	0.0	0		9,964			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	9,968	9,964	10,000	10,000	10,000
	うち一般財源	9,968	9,964	10,000	10,000	10,000
	人件費	0	0	0	0	0
	総事業費	9,968	9,964	10,000	10,000	10,000

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		安全上・防犯上設置や改修が必要な施設設備の整備を行うことにより、園児、児童、生徒の安全な教育環境を確保できた。
	効率性	A:効率的だった		現地調査や、学校からのヒアリングにより、緊急性が高いものから優先して、対策を実施した。
②成果に対する評価	指標名	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数		当初の予定を上回る整備を行うことができた。
	目標	155	件	
	実績	182	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		計画に沿って、事業を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成26年度より計画的に整備を行っていくこととした「防犯カメラとセンサーライト」についても、引き続き、各学校・園に対し、整備を進めていきたい。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	○老朽化し危険な状態にある遊具の撤去や設置、施設の改修、防犯設備など安心確保のための設備の整備を行う。 ○未整備の学校に対し、「防犯カメラとセンサーライト」の配備を進めていく。			
	H30年度	○老朽化し危険な状態にある遊具の撤去や設置、施設の改修、防犯設備など安心確保のための設備の整備を行う。 ○未整備の学校に対し、「防犯カメラとセンサーライト」の配備を進めていく。			